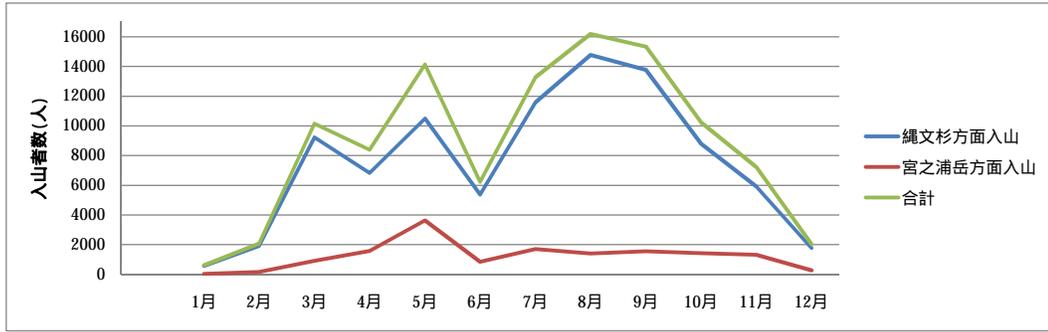


# 平成21年の屋久島主要山岳部の利用動向把握(カウンター)調査について

## 1. 平成21年利用動向データ(カウンターデータ)



平成21年(2009)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
縄文杉方面入山	578	1,918	9,235	6,820	10,492	5,360	11,586	14,766	13,779	8,798	5,921	1,762	91,015
宮之浦岳方面入山	41	161	913	1,567	3,640	857	1,698	1,414	1,435	1,435	1,316	261	14,854
合計	619	2,079	10,148	8,387	14,132	6,217	13,284	16,180	15,330	10,233	7,237	2,023	105,869
入島者数 (種子屋久観光連絡協議会調べ)	21,709	25,110	37,100	26,465	35,362	21,930	39,855	36,990	32,946	30,485	25,501	17,243	350,696
入島者数に対する 入山者の割合	2.9%	8.3%	27.4%	31.7%	40.0%	28.3%	33.3%	43.7%	46.5%	33.6%	28.4%	11.7%	30.2%

赤字の箇所はデータ欠測期間があり、補正を加えた推定値。

### < 入山が集中した月 >

- ・ 縄文杉方面入山で最も多かったのが、8月の14,766人。ついで9月の13,779人、7月の11,586人。
- ・ 宮之浦岳方面入山で最も多かったのが、5月の3,640人。ついで7月の1,698人、4月の1,567人。

### < 入島者数に対する入山者数の割合が多い月 >

- ・ 入島者数に対する入山者数の割合が最も多かったのが、9月46.5%。ついで8月の43.7%、5月の40.0%。

### < 年間データ欠測率(平成21年1月～12月(365日間)) >

- ・ 縄文杉方面入山のデータ欠測率は0%(0日/365日)。
- ・ 宮之浦岳方面入山のデータ欠測率は1.6%(6日/365日)。

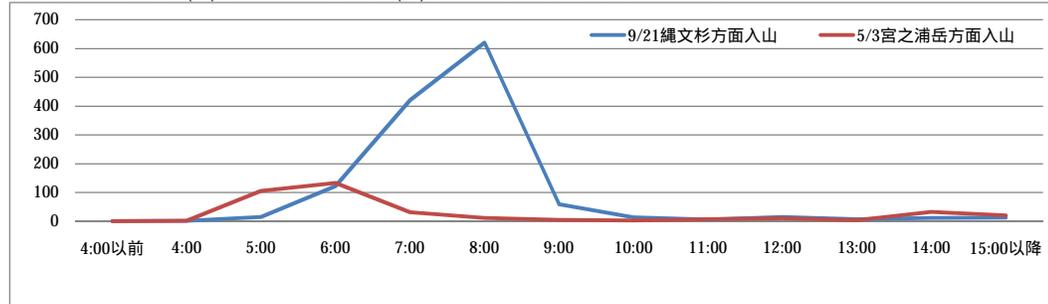
### < 入山が集中した日上位10日 >

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
縄文杉方面入山	月日	9/21(月)	5/4(月)	5/3(日)	10/11(日)	9/20(日)	9/22(火)	4/30(木)	3/21(土)	9/24(木)	8/14(金)
	人数	1,306	953	913	745	711	698	695	673	656	649
宮之浦岳方面入山	月日	5/3(日)	5/30(土)	9/20(日)	5/23(土)	5/22(金)	5/2(土)	5/4(月)	4/27(月)	9/21(月)	5/5(火)
	人数	365	279	238	207	181	179	165	160	156	153

土日祝祭日は赤字表示。

- ・ 1年間で最も入山が集中したのは、縄文杉方面でシルバーウィーク(以下SW)期間中の9/21(月)の1,306人。これは調査を開始してからの1日の入山者数の最高値。宮之浦岳方面ではゴールデンウィーク(以下GW)期間中の5/3(日)の365人。
- ・ 縄文杉方面の入山では、上位10日にGW期間の3日とSW期間の4日が入り、両大型連休における入山集中が顕著に示された。
- ・ 宮之浦岳方面の入山では、GW期間の5日とSW期間の2日に加え、5月末のシャクナゲ開花期の3日が上位10日を独占し、両大型連休とシャクナゲ開花期における入山集中が顕著に示された。

### < 入山が最も集中した9月21日(月)の縄文杉方面・5月3日(日)の宮之浦岳方面の時間帯別利用動向 >



	4:00以前	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00以降
9/21 縄文杉方面入山	0	2	15	122	420	621	59	14	6	15	7	12	13
5/3 宮之浦岳方面入山	0	2	105	133	31	12	5	3	7	10	4	33	20

各カウンターを通過した時間帯のデータ。縄文杉方面入山カウンターは荒川登山口入山から約1時間の所でカウント。

- ・ 入山者が最も集中した日の利用動向は、縄文杉方面入山が7:00～9:00(荒川登山口出発時間が6:00～8:00に相当)に、宮之浦岳方面入山(淀川登山口出発)が5:00～7:00に集中。この時間帯別利用動向は年間を通して共通の傾向を持つ。

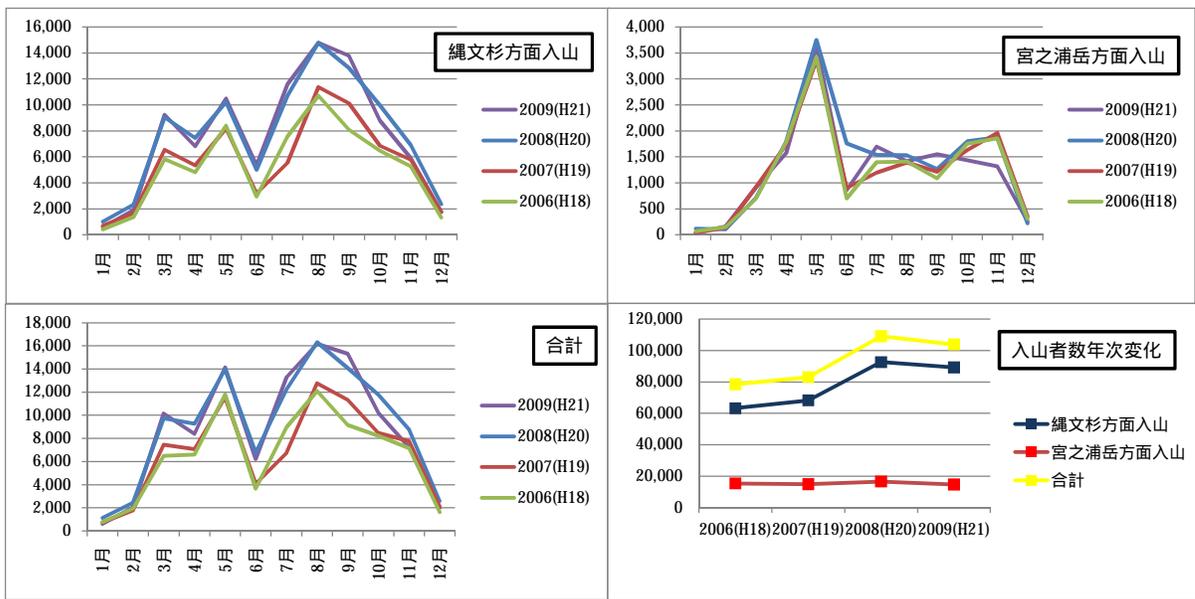
## 2. 平成18,19,20年との比較

### < 入山者数 >

縄文杉方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2009(H21)	578	1,918	9,235	6,820	10,492	5,360	11,586	14,766	13,779	8,798	5,921	1,762	91,015
2008(H20)	1,004	2,330	9,034	7,461	10,214	5,006	10,706	14,765	12,829	9,980	6,913	2,367	92,609
2007(H19)	692	1,658	6,549	5,344	8,181	3,186	5,548	11,374	10,128	6,858	5,797	1,759	67,074
2006(H18)	430	1,392	5,804	4,810	8,396	2,952	7,580	10,707	8,079	6,480	5,283	1,324	63,237
宮之浦岳方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2009(H21)	41	161	913	1,567	3,640	857	1,698	1,414	1,551	1,435	1,316	261	14,854
2008(H20)	116	109	715	1,798	3,750	1,759	1,541	1,533	1,267	1,800	1,876	226	16,490
2007(H19)	40	139	917	1,736	3,363	900	1,198	1,391	1,215	1,628	1,959	353	14,839
2006(H18)	73	149	697	1,785	3,418	698	1,399	1,408	1,088	1,752	1,860	311	14,638
合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2009(H21)	619	2,079	10,148	8,387	14,132	6,217	13,284	16,180	15,330	10,233	7,237	2,023	105,869
2008(H20)	1,120	2,439	9,749	9,259	13,964	6,765	12,247	16,298	14,096	11,780	8,789	2,593	109,099
2007(H19)	732	1,797	7,466	7,080	11,544	4,086	6,746	12,765	11,343	8,486	7,756	2,112	81,913
2006(H18)	748	1,939	6,501	6,595	11,814	3,650	8,979	12,115	9,167	8,232	7,143	1,635	78,518

赤字の箇所はデータ欠測期間があり、補正を加えた推定値。(平成22年2月一部訂正)

青字の箇所は期間中に工事があり、工事関係者の通行があったため補正を加えた推定値。(平成22年2月一部訂正)



・ 縄文杉方面の利用動向に関して、入山傾向は過去3年とほぼ同じで、総入山者数は平成20年から横這いであった。入山者数はGWのある5月、夏休み期間である7～9月に加え、3月にも9,000人を超えた。平成20年からは約1,600人減少した(約1.7%減)ものの、利用の集中する3月と5～9月の6ヶ月で前年を上回っており、特定月での入山集中が一層顕著になった。

・ 宮之浦岳方面の利用動向に関して、入山傾向は過去3年とほぼ同じであったが、入山者数は平成20年から約1,650人減少し(約10%減)、平成19年と同等であった。SWのある9月で前年を上回ったが、10～11月は過去4年間で最も少なく、また6月は前年から半減した。

・ 7/22の皆既日食時の入山に関して、当日の入山は悪天候が影響して極端に少なかった(縄文杉方面に36人、宮之浦岳方面に29人の入山にとどまった)ものの、その前後11日間で見ると入山者数が前年に比べて約7.0%増加した。

・ 主要山岳部の利用動向は気象による直接的、間接的(各交通機関の欠航等)の影響を受けやすいが、平成21年は、特に利用動向の集中した5月(GW)と7～9月(夏休み)に2回しか警報が出ていなかったほか、9月に起きた大隅海峡における流木漂流の影響による10日間の高速船欠航を除けば、年間を通して各交通機関の欠航は少なかった。

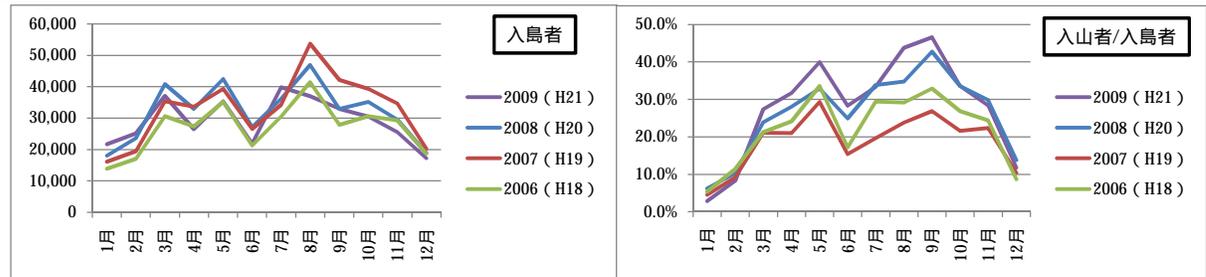
・ 縄文杉方面と宮之浦岳方面を合わせた利用動向に関して、入山傾向は過去2年とほぼ同じで、入山者数は平成20年と同等であった。平成20年からは約3,230人(約3.0%)減少した。

<入山者数>

入山者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2009(H21)	21,709	25,110	37,100	26,465	35,362	21,930	39,855	36,990	32,946	30,485	25,501	17,243	350,696
2008(H20)	18,063	23,623	40,802	32,975	42,434	27,127	36,196	46,903	32,958	35,127	29,490	18,858	384,556
2007(H19)	16,059	19,432	35,402	33,638	39,323	26,585	34,285	53,690	42,193	39,299	34,616	20,270	394,792
2006(H18)	13,886	17,020	30,603	27,335	35,185	21,253	30,545	41,487	27,874	30,621	29,260	18,771	323,840

入山者/入山者	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2009(H21)	2.9%	8.3%	27.4%	31.7%	40.0%	28.3%	33.3%	43.7%	46.5%	33.6%	28.4%	11.7%	30.2%
2008(H20)	6.2%	10.3%	23.9%	28.1%	32.9%	24.9%	33.8%	34.7%	42.8%	33.5%	29.8%	13.8%	28.4%
2007(H19)	4.6%	9.2%	21.1%	21.0%	29.4%	15.4%	19.7%	23.8%	26.9%	21.6%	22.4%	10.4%	20.7%
2006(H18)	5.4%	11.4%	21.2%	24.1%	33.6%	17.2%	29.4%	29.2%	32.9%	26.9%	24.4%	8.7%	24.2%



・ 平成21年の入山者数は平成20年から約34,000人(約8.8%)減少した。また、動向に関しては過去3年と異なり、7月の入山者数が8月の入山者数を上回った。7月の入山者の増加に関しては、7/22の皆既日食の影響が大きいと考えられる。

・ 入山者数に対する入山者数の割合に関して、平成21年は平成20年に比べて約1.8%増加し、過去4年間で初めて30%を超えた。傾向は過去3年とほぼ同じだが、入山の集中する5月、8～9月における登山目的の入山者数の全体に対する割合が増加した。

3. 参考データ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成21年気象データ (気象庁屋久島測候所調べ)	29日:AB	警報なし	警報なし	警報なし	28日:CD	警報なし	警報なし	6日:D	警報なし	6日:D 7日:BCD 8日:BCD	警報なし	警報なし

A = 大雨警報, B = 洪水警報, C = 暴風警報, D = 波浪警報

・ 大雨警報の基準が山岳部県道の通行止めの基準と近いことも含め、各警報は入山者の登山目安となり、主要山岳部の利用動向に影響を与えると考えられたため、警報を気象データに採用した。

平成21年各交通機関の就航率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JAC	98.0%	94.3%	94.2%	99.3%	96.4%	96.5%	100.0%	97.4%	99.4%	98.8%	96.0%	96.4%
トッピー(宮之浦港発着)	93.5%	100.0%	94.7%	100.0%	96.8%	100.0%	100.0%	100.0%	66.1%	93.6%	100.0%	96.8%
トッピー(安房港発着)	96.7%	100.0%	97.5%	100.0%	96.8%	100.0%	100.0%	100.0%	64.2%	93.4%	100.0%	96.8%
ロケット	92.5%	92.9%	93.5%	100.0%	94.5%	100.0%	100.0%	100.0%	65.6%	94.6%	98.7%	95.8%
フェリー屋久島2	83.9%	100.0%	96.8%	100.0%	64.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.5%	93.3%	96.8%
屋久島丸	87.1%	96.4%	100.0%	100.0%	96.8%	100.0%	100.0%	96.8%	100.0%	96.8%	96.7%	96.8%

・ 5月のフェリー屋久島2の就航率が低い値となっているのは、5/14～23の10日間ドッグ入りのため、屋久島丸もドッグ入り期間があったが、フェリーハイビスカスが代船したため、就航率に影響なし。

・ 9月の高速船(トッピー・ロケット)の就航率が低い値となっているのは、大隅海峡における流木漂流の影響により、9/10～19までの10日間、高速船全便が欠航したため。